

**平成29年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者人数 (単位： 人)	
	指標の意味	講座・イベント+貸館+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	198,500	今年度の実績値 205,392

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H25	H26	H27	H28	H29(上期)	H29(通期)
	来館者数(人)	337,586	371,008	377,910	364,170	360,152	180,261	361,473
貸し室稼働率(%)	39	46	45	43	43	40	42	
講座開催回数(回)	630	919	974	1,038	998	511	1,023	
講座参加者数(人)	18,879	41,445	44,153	42,795	43,623	20,356	45,435	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	3カ年平均	
収入	使用料収入	56,337	54,049	51,880	54,089	
	事業収入	15,261	15,104	16,086	15,484	
	その他	231	189	182	201	
	指定管理委託料	125,516	123,624	124,326	124,489	
	①合計	197,345	192,966	192,474	194,262	
支出	維持管理	光熱水費	26,361	24,387	25,138	25,295
		清掃等委託料	24,885	24,897	25,317	25,033
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	7,648	7,504	7,664	7,605
	運営	人件費	36,676	38,193	41,452	38,774
		事業等経費	92,605	88,080	85,638	88,774
		その他	4,898	5,506	5,088	5,164
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	193,073	188,567	190,297	190,646		
純収支(①-②)		4,272	4,399	2,177	3,616	

		H24	H25	H26	H27	H28	H29
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>	市の収入	2,049	2,140	249	267	394	228
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	107,897	113,704	127,672	269,744	125,707	129,013
	(内、指定管理委託料)	106,861	111,849	118,877	125,516	123,624	124,326
実質経費(歳出-歳入)		105,848	111,564	127,423	269,477	125,313	128,785

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化した施設・設備機器等の故障に対し、利用者の利便性と費用対効果のバランスに配慮しながら、臨機応変に対応した。	A	施設の老朽化が進む中、市と緊密に連携を取りながら利用者の利便性の確保に努めている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。適時、技能研修も行った。	B	設置目的を達成するため、施設運営に必要な人材確保、職員研修を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を構築。年に2回の消防訓練を行った。	B	連絡体制を整備し、訓練も適切に実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	市民参加型のイベントや市民の参画と協働を目的とした市民企画講座や育成グループとの連携に取り組んだ。	A	丁寧に利用者の声を聴き、利用者の増加に取り組む、積極的な施設運営を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民の参画と協働をサポートする事業を積極的に展開した。	A	市民との協働による取り組み等、市の施策に沿った事業展開が図られている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行った。	B	個人情報等の管理は、条例等を遵守し、適切に処理されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	各収入の増減はあったが支出の抑制等、収支計画全体の範囲で対応した。	B	収支計画に基づき、概ね適正に取り組まれている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	利用者の声を反映した事業を実施することで講座参加者が増加する等、利用者の拡大に積極的に取り組まれている。市の施策、施設の設置目的に沿った適正な管理運営がなされている。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成29年 10月 25日 ～ 平成30年 3月 25日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	<ul style="list-style-type: none"> 利用されての満足度はどうですか。 「たいへん満足」「満足」91% 機会があれば、また利用したいと思いますか。 「利用したい」97% 	今後多くの方に満足・利用いただけるよう、講座やイベントなど事業の創意工夫に努めます。
回答者数	英会話講座を利用したいが、いつも時間が午前中しかないので、参加できない。午後、もしくは夜に開講してほしい。	部屋の空き状況やニーズを考慮し、今後の事業計画の参考にさせていただきます。
333	女子トイレの水洗のハンドルレバーから水滴が垂れている。	漏水修繕を行い、改善いたしました。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置